なんでもインフォ 2011.5

発 行　株式会社 昭和土木設計　業務ｾﾝﾀｰ
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１－23
E-mail　suzuki@showacd.co.jp
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～ 3.11 震災～

はじめに

3 月 11 日 14 時 46 分、岩手県に震度 6 強の地震が発生しました。その数分後に津波の第一波が押し寄せ、約 30 分後には津波の最大波が沿岸全域を襲いました。地震と津波により沿岸地域は、人命、財産など壊滅的な被害を受けました。まだ今日でも避難所での生活を強いられている被災者が数多くいます。

地震発生から約一ヵ月半を経過した今、今月号のインフォでは、地震・津波の規模、被害の状況をまとめるとともに、今後策定される復興計画についての動向をまとめてみたいと思います。



建物を押し潰しながら遡上した津波（釜石市）

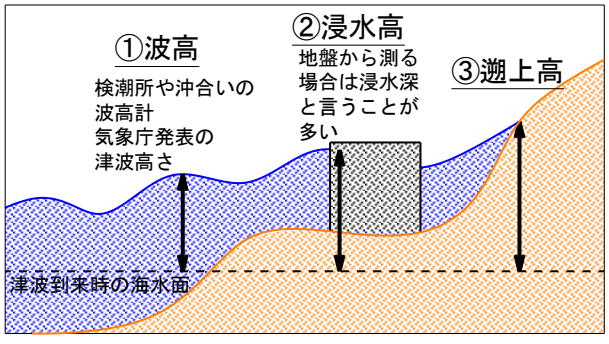
地震の規模

今回の地震の規模は、国内観測史上最大であり、断層の破壊は、宮城県沖から始まり岩手県沖の方向、福島県・茨城県沖の方向に広範囲に広がりました。まさに巨大地震です。この地震が長く感じたことは、破壊の継続時間約 3 分から読み取ることが出来ます。気象庁から発表された地震特性は以下のとおりです。

規模：Mw9.0(Mw はモーメントマグニチュード)
断層の大きさ：長さ約 450km、幅約 200km
断層のすべり量：最大 20～30m程度
主たる破壊の継続時間：3 分程度
震度 4 以上の余震の発生数(4/21 現在)：122 回

津波の高さ

津波の高さには、①波高、②浸水高、③遡上高の 3 種類の定義があります。津波の高さも想定をはるかに超えるものでした。



下記に岩手県内主要地点の津波の高さを示します。

観測地点	波高	浸水高	遡上高
宮古	8.5m 以上	——	20m 田老町
釜石	4.1m 以上	7～9m 釜石港	28m 唐丹本郷
大船渡	8.0m 以上	9.5m 大船渡港	24m 綾里湾
陸前高田	——	——	20m

m 以上とは津波被害により記録の断絶によるものである。

津波による浸水区域

今回の津波は、岩手県沿岸全域において膨大な面積の浸水を起こしました。

津波による浸水範囲の面積（概略値）		
市町村名	市町村面積	浸水面積
宮古市	1,260 km2	9 km2
大船渡市	323 km2	6 km2
久慈市	623 km2	4 km2
陸前高田市	232 km2	9 km2
釜石市	441 km2	7 km2
大槌町	201 km2	4 km2
山田町	263 km2	4 km2
岩泉町	993 km2	1 km2
普代村	70 km2	0.5 km2
野田村	81 km2	2 km2
洋野町	303 km2	1 km2
合計	4,790 km2	49 km2

復興計画の動き

国では、復興に向けた指針策定のために、「東日本大震災復興構想会議」が 4/14 から開催されています。

岩手県においても「岩手県東日本大震災津波復興委員会」により復興計画の策定に向けた議論が進められています。その中で、復興計画を円滑に進める目的として、復興計画を策定するまでの間、新たな建物の建築を制限できるように「建築規制」を設定する動きも出ています。

各市町村においても同様な動きがあり、釜石市では市民代表を含めた復興プロジェクトの発足、大船渡市では復興計画に向けた市民意向調査の開始を発表しています。

おわりに

今回の地震では多くの尊い命が奪われ、今なお多数の方が行方不明になっています。また、今後の生活の再建に不安を抱かれる被災者の方も多いと思います。これから策定される復興計画は、こうした被災者や被災地域の住民が分かりやすく将来をイメージできるものである必要があります。

そのためには復興計画が、地域の実情に即したものであり、地域の人と共に創られることを期待します。

それが地域の人にとって、失われた「ふるさと」を取り戻す唯一の手段であると感じます。

作成者：コンサルタント事業部
鈴木　浩行

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は，道路・河川・橋梁等の計画・設計，GIS，IT ソリューション等の業務を行っております．
”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください．